

# 令和5年度 高山市立丹生川小学校 学校経営全体構想

## 《学校課題・願い》

- \* 安全・安心な校風づくり
- \* 自己肯定感の醸成
- \* 自ら考え判断し、自分事として言動できる主体性
- \* 基礎学力の確実な定着
- \* 一人ひとりの違いを認め合う多様性の尊重
- \* いじめ・不登校の未然防止と対応
- \* ふるさと丹生川に愛着と誇りがもてる児童の育成

## 《高山市小中学校教育の方針と重点》

- <方針>  
郷土高山に根ざし、未来を切り開くための資質・能力を育む
- <重点>  
挑戦し続けるたくましさの育成  
達成感と貢献感を積み重ねることが挑戦するエネルギーになる  
「ワクワクするカリキュラム・マネジメント」  
個の多様性を尊重し、一人一人の可能性を伸ばす教育により、自分らしい花を咲かせることができる力を！

## 学校教育目標

『心身ともにたくましく 進んで実践する子 ~ やさしい子 かんがえる子 やりぬく子 ~』

【目指す学校】 「明日も来たくなる学校」「力をつける学校」

【育てたい資質・能力】

**仲間と関わり合い、試行錯誤しながらあきらめずに挑戦する力**

### 学習(まなび)づくり

学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業の創造  
分らない児童を置き去りにしない授業の確立

- 授業力向上→「授業が楽しい・分かる」  
・分かる児童の挙手やつぶやきのみで進めない。
- ・コーディネート力(意図的指名、学び方、見届け価値付け等)を高める授業改善。
- ・教材研究、研修の充実(日課変更・研修主事)
- 主体的・対話的な学びを充実させ、深い学びを実感できる授業(教科の見方・考え方を発揮)⇔  
「ICTの効果的な活用」「指導と評価の一体化」  
「根拠を明確にして自分の考えを伝え合う」
- 授業における生徒指導を大切にする。  
「自己存在感の感受の促進」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成(居場所に配慮)」
- 基礎学力の定着・教科担任制の推進  
・タブレットを活用したドリル学習(朝活)
- 多様性の尊重とインクルーシブ教育の推進

【重点】

### 生活(なかま)づくり

安全・安心を基盤とし、すべての児童に居場所がある学校づくり→「学校が楽しい」

- いじめの未然防止に向けた、差別的意識に立ち向かう意図的な学級経営・全教育活動  
→4月からの積み上げによる“ひびきあい集会”へのアプローチ
- 「なりたい自分」の実現に向け、何度でも挑戦できるよう支援し、個への見届けを行う。  
(三者懇談プレゼン)→自己肯定感の醸成
- 共感的な人間関係づくりの推進と不登校の未然防止(心のケア・SOSの出し方・組織対応)
- 積極的に問題を投げかけ、主体的に考えさせる学級・学年団経営、委員会活動
- 家庭と連携した情報機器の依存防止・安全利用、眠育指導の充実
- 命の教育(自分の命を自分で守る力)

★総合的な学習の時間の充実(戦略的な体験活動)により、たくましさと郷土愛を育み、  
ふるさと丹生川に愛着をもたせ、未来の丹生川を切り拓いていく力を培う

★地域とともにある学校=家庭・PTA・地域との連携指導

「学校運営協議会」「すくなく子教育連携会議」「支所会議」「保小中連携」

## 【指導の共通理解】

- ① 子ども・学校・家庭のせいにはしない(成長する職員と保護者で在り続ける)
- ② 子どもに軸足を置く(願うのは子どもの成長と幸せ、個々の自立を支援する)
- ③ 環境の統一感が子どもを変える(全校・家庭・地域の一体感を大切にする)
- ④ 働きがいのある職場づくり(健康第一・同僚性・働き方改革…自分で管理する力)
  - ◇ 子どもに向き合う(見届け、価値付け、意味指導)
  - ◇ 全職員で全児童を育てる(認めるべき瞬間、正すべき瞬間を逃さない)
  - ◇ 目の前の課題を組織で解決する(報連相と初期対応。即日複数対応を原則)
  - ◇ 強い意志と覚悟をもつ(どの学年も同じ・常に考え策を練る)